

平成15年度事務事業評価結果

市役所のしごと見直しています

行政課
66-1155

蒲郡市では、行政改革を進めるために、市役所が行っているすべての事務事業（しごと）について、それが市役所の事業として必要かどうか、求められている成果があがっているかなどの見直しをしています。そのため重要な手段として、平成15年度から事務事業評価を導入し、実施しています。

今年度は、平成15年度に実施した771事業（医療関係を除く）のうち275事業について評価をしましたので、その結果をお知らせします。

事務事業評価とは…

市役所の各課で行っている事務事業は、PLAN(計画)・DO(実践)・CHECK(評価)・ACTION(改善)・PLAN(計画)のサイクルで

進めています。事務事業評価は、このサイクルのうち、CHECK(評価)・ACTION(改善)を充実して行うシステムのことで、事務事業評価を行う目的は、行政活動が、真に必要な市民サービスに結びつくようにしていくためです。そして、事務事業評価を行うことで、次の3つを目指しています。

- 1 市民への行政情報の公開および情報交流
- 2 行政活動全般についての職員意識改革
- 3 事務事業の見直し

評価の仕方は…

毎年、前年度に実施された全事業のうち3分の1ずつ事業評価をし、評価表を作成します。3年で全事業の評価を行います。

評価表とは…

事務事業を4つの事業類型にわけ、事業の実績を、事業の概要、投入した事業費・人員、その成

果などについて、できるだけ数値を用いて客観的に表すものです。評価は点数評価と、AからDの4段階評価の総合評価から成っています。

事業類型	内容
1 一般事務事業(ソフト事業)	市民課業務のように直接市民サービスに結びつくようなしごと
2 内部管理事務事業	円滑に市民サービスが行えるよう内部的に調整を行うしごと
3 建設事業(ハード事業)	施設建設事業、道路・河川などの整備事業
4 施設維持管理事業	施設の管理・維持補修などの事業

総合評価	内容
A	現在の事業の進め方で十分効果があがっている。
B	事業の進め方に改善が必要である。
C	事業の計画、内容および規模などの改善が必要である。
D	事業の廃止の検討が必要である。